

## 附属生命医学研究所



共焦点レーザー走査型顕微鏡 FV3000

### 総合研究施設

総合研究施設は、附属生命医学研究所の共同利用研究部門として所属講座にかかわらず研究者が広く利用できる施設です。

セルソーター、質量分析器、電子顕微鏡、DNAシーケンサー、次世代シーケンサー、3Dプリンター、各種の蛍光顕微鏡など、最新の機器が揃っており、オープンラボ形式の臨床系総合研究施設も設置し、本学の研究活動を支える中心施設となっています。



SPECT/CT

### アイントープ実験施設

アイントープ実験施設は、放射性同位元素を用いて研究するための共同実験施設です。

施設内には、液体シンチレーションカウンターやガンマカウンターなどの放射線測定器をはじめ、細胞や小動物に放射線照射をするためのガンマ線照射装置、最新のイメージング機器であるSPECT/CTやX線透視装置などが揃っており、基礎的な実験から小動物のイメージングまで幅広い実験が可能な環境です。



個別換気式ゲージによるマウス飼育管理

### 実験動物飼育共同施設

実験動物飼育共同施設は、社会的・科学的に適正な動物実験を保障するための環境を整備し、実験動物を飼育しています。

施設には、SPFおよびコンベンショナルな環境での各種動物の飼育室の他に、実験室、胚操作室、検疫室などを備え、研究者の動物実験をサポートしています。本学でも動物実験によって、再生医学・免疫学・神経科学・幹細胞生物学等の分野で数多くの画期的な成果が得られました。

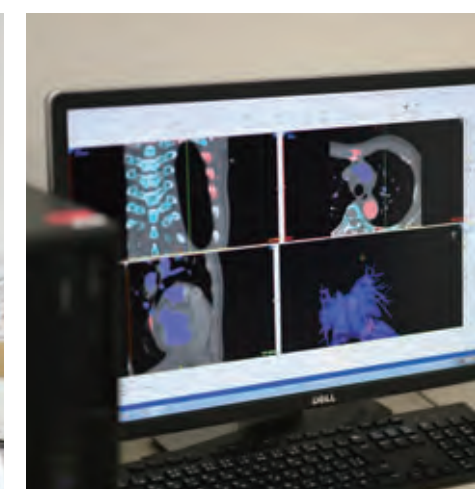
# 関西医科大学 大学院医学研究科 博士課程

## 入学相談 随時受付

メールや電話でも  
気軽にお問合せ下さい。

学位取得に向け多様なコースを設けています。  
各種コースを利用して自身のキャリアパスを  
大きく展開しませんか。

進化する、  
大学院。



令和6年度  
博士課程  
募集

一般入試 通常4年コース

社会人入試 通常4年コース・長期履修5年コース

外国人入試 通常4年コース〈第一次募集のみ〉

	第一次募集	追加募集 <sup>※</sup>
定員	50名	
出願資格審査書類 受付期間 <small>※出願に際し資格審査が必要な場合があります。</small>	令和5年10月10日(火)～ 令和5年10月20日(金)	令和5年12月18日(月)～ 令和5年12月28日(木)
願書受付期間	令和5年10月10日(火)～ 令和5年11月17日(金)	令和5年12月18日(月)～ 令和6年1月24日(水)
入学試験期日	令和5年12月2日(土)	令和6年2月3日(土)

※第一次募集で定員に達した場合は追加募集を実施しません。

募集要項はホームページに掲載していますので、ご参照ください。 <https://www.kmu.ac.jp/juk/index.html>



関西医科大学 医学部事務部 大学院課  
〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号  
TEL 072-804-2305 (内線 2225)  
E-mail gradumed@hirakata.kmu.ac.jp

《大学院課カウンター願書受付時間》 平日 午前9時～午後4時30分 / 第1・3・5土曜日 午前9時～正午



# 医学研究の分野で 社会に貢献！ 医療人としての キャリアアップ！ 研究者として 世界に羽ばたく！

医学研究科では、多様なバックグラウンドを持つひとをサポートする体制が整っています。

## 授業料免除制度

基礎社会系・教養系研究分野の学生、社会人学生(医師、歯科医師免許保有者を除く、ただし研修医は含む)は授業料が免除されます(収入の審査があります)。

## 社会人コース

各種医療機関、官公署・民間会社等に在職しながら学ぶことができます。関西医科大学系列病院に勤務されている助教等の方も、社会人コースの対象となります。

## 長期履修制度

標準修業年限は4年ですが、社会人等、研究時間に制限のある方は5年間で学位を取得することができます。授業料の合計は通常4年間のコースと同額です。

本学では、幅広い分野の最先端機器を揃えた共同研究施設と最新鋭の動物実験施設を備えている他、臨床研究支援センターも設置しています。附属病院にも直結していることで、基礎研究、臨床研究ともに進めやすい環境が整っています。

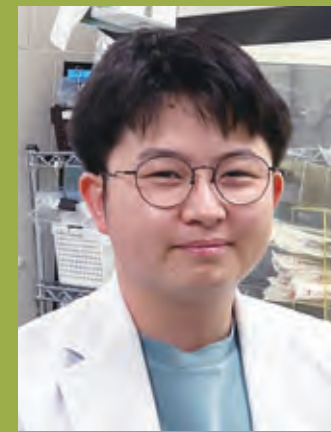
ハード面、ソフト面双方を充実させた大学院は、高度な専門的知識と研究能力を有した指導的立場に立つ医師・研究者を育成していきます。

## CAREER PASS キャリアパス



## 学生納付金

- 入学金 200,000円
- 授業料(実習費込) 500,000円(年額) ※長期履修制度を利用の場合は 400,000円(年額)
- 学生教育研究災害傷害保険加入料(4年間) 3,300円



## INTERVIEW

新入生インタビュー

幹細胞再生医学  
(令和5年度 入学)  
第1学年 金川 竜也

私は視能訓練士として勤務するなかで、研究についてもっと学びたいと考えていたことをきっかけに本学の修士課程へ入学しました。修士課程での研究をより深くさらに発展させたいと思い、本年度より博士課程へ進学しました。現在はiPS細胞を用いた角膜上皮細胞の研究をしています。講義はオンラインで受講できるものも多く、仕事と大学院生の両立を行いやすい環境となっています。大学教員にならない限りコメディカルに博士号は不要と言われることが多いですが、大学院で学んだことが臨床で無駄になることはないことを実感しています。仕事と研究に慌ただしい日々ですが、新しい学びを得ることのできる充実した毎日を過ごしています。もし、大学院に進学したい、研究について深く学びたいという気持ちがあるのであれば、一緒に一歩を踏み出してみませんか？

## INTERVIEW

新入生インタビュー

消化器内科学  
(令和5年度 入学)  
第1学年 齊藤 夏子

私は、内科学第三講座に入局しすぐに出産しキャリアが中断することになりました。育児休業から復職後は、育児の都合を考えていただき総合医療センターに勤務し主に内視鏡検査・治療を行っております。大学院は以前より興味がありましたが、育児の関係で附属病院へ通学することが困難であり諦めざるを得ませんでした。そんな中、教授から総合医療センターに勤務しながら大学院に通えるという社会人コースを勧めいただき、育児中でも大学院に通えると考え進学を決意しました。今までの生活を大きく崩すことなく、また研究活動もでき充実した毎日が送ることができています。ほとんどの講義がオンラインで受講可能であるところも大きな魅力です。大学院での経験を通して医師として成長し、地域社会に貢献できるように邁進していきたい所存です。



## INTERVIEW

新入生インタビュー

光免疫治療学  
(令和5年度 入学)  
第1学年 原 大貴

新しいがん治療法として期待されている光免疫療法の研究拠点である光免疫医学研究所が令和4年4月に開設されたことを知り、ここで最先端の技術を学びたいと考え、社会人学生として博士課程に進学しました。光免疫医学研究所では、化学の観点から光免疫療法をさらに発展させることを目指し、化合物合成の研究に取り組んでいます。充実した研究設備に加え、先生方にも恵まれ、日々研究に打ち込むことができます。また学業の面では、オンライン授業や就業時間外の授業が用意されており、私のような社会人学生にとっても学業と仕事を両立しやすい理想的な環境が整えられていると思います。今後も、患者さんの健康につながる技術の創出を目指し研究に邁進したいです。

## CURRICULUM

PICK UP

カリキュラム

研究分野の垣根を越えた指導を受けられる！

### 選択必修コース

他の研究分野の学生とグループを形成し、定期的なコースミーティングや年に1度のリトリート(合宿)を行うカリキュラムです。自身の研究について他分野の教員から違う視点でアイデアやアドバイスを受けることができます。また、基礎医学の知識をアップデートすることが可能です。



リトリートでの発表の様子

- 細胞の増殖と分化コース
- 体の高次機能コース
- 形態形成と老化コース
- 社会と健康コース

国際大学院を開設！

### 国際大学院 (International Postgraduate Program)

令和4年9月に、本学協定校等の外国人留学生を積極的に受け入れる国際大学院プログラムを開設しました。

今後、より一層グローバルな大学院に進化します。

